

環境基本方針

小野建株式会社およびグループ会社（以下、「当社グループ」といいます）は、「クニづくり・マチづくり・モノづくりに貢献する」企業として、環境保全と気候変動への対応を経営の重要課題に位置付けています。私たちは地球環境の保全なくして持続可能な社会の発展はなし得ないとの認識に立ち、企業活動のあらゆる段階で環境負荷の低減に努め、ステークホルダーと協働しながら豊かな地球環境の維持に貢献します。本方針は当社グループ経営トップのコミットメントのもと、取締役会により承認されています。

1. 環境保全へのコミットメント

当社グループは、環境保全への取り組みを経営の最優先課題の一つと位置づけ、以下の重点領域において積極的な活動を推進します。

(1) 気候変動の緩和（脱炭素化）および適応

温室効果ガス（GHG）の排出削減に取り組み、2050年までのカーボンニュートラル実現に向けて努力します。事業活動全体でエネルギー効率化や再生可能エネルギーの導入を推進します。また、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）への支持を表明し、気候関連リスクと機会を経営戦略へ組み込み、必要に応じてシナリオ分析等の方法で気候変動への適応策を検討・実施します。

(2) 資源循環の推進と廃棄物削減

資源リサイクルや廃棄物の発生抑制に積極的に取り組みます。製品・サービスのライフサイクル全般にわたり、3R（削減・再使用・再利用）の推進を図り、廃棄物の再資源化・適正処理とゼロエミッション（廃棄物最小化）の実現を目指します。特に鉄鋼製品・加工においては、リサイクル素材の積極活用や廃材回収体制の強化を通じて資源の有効利用を徹底します。

(3) 汚染の防止と化学物質管理

大気・水・土壌など環境への汚染の防止を最優先に、有害物質の排出規制を遵守し、必要に応じて自主基準を設定します。水資源の適正利用と排水管理にも注力し、排水処理設備の適切な運用、定期モニタリングにより水質保全に努めます。また、化学物質の管理や排出ガス・粉塵対策を徹底し、環境への影響低減に努めます。

(4) 生物多様性の保全

当社グループは、事業活動が生態系へ与える影響を把握するとともに、その影響を最小限に抑える努力を行います。自然資源の持続可能な利用と、事業所周辺における生態系の保護を推進します。外来種の適正管理や植樹活動への参加などを通じ、地域および地球規模での生物多様性保全に貢献します。

(5) 環境関連法規の遵守と自主基準

事業活動を行う各国・各地域の環境関連諸法令・規則を厳格に遵守します。また、自主的な環境管理基準を策定し、それらを社内規定・手順として運用・定着させます。社内監査等を通じて適切な運用を図ります。

2. ガバナンス・実施体制

当社グループは、環境保全活動の統括および気候変動対策に関するガバナンス体制を構築しています。サステナビリティ委員会を設置し、事業全体の環境戦略・目標を審議するとともに、環境関連リスクや機会を把握し対応策を検討します。その内容は四半期ごとに取締役会へ報告され、適切な監督・指導を受けます。

3. 定期的な情報開示・対話

当社グループは、本方針の実践状況について定期的に関示し、TCFDの提言に沿った情報開示も推進します。また、環境に関するステークホルダーとの対話（地域住民、投資家、行政との意見交換等）を重視し、いただいたご意見を環境施策の改善に活かしていきます。

4. 教育・浸透および継続的改善

当社グループは、本方針を全役職員に周知徹底し、環境意識向上のための教育・研修を定期的を実施します。また、従業員から環境に関する提案や改善意見を募る仕組みを整え、組織の環境パフォーマンス向上に反映します。環境目標の達成状況や方針の妥当性については、サステナビリティ委員会によるレビューと取締役会での評価を実施し、必要に応じて本方針の見直し・改定を行います。当社グループは、本方針のもとで環境保全と持続可能な社会の実現に向けた取り組みを着実に進めてまいります。